

## ペーパープロトタイピングでアプリを設計しよう！①

～企画・制作編～

### ペーパープロトタイピングとは

- ・紙でアプリや Web サイトを制作し、その画面や動きのイメージを表現するものです。
- ・画面を紙や付箋で複数枚制作し、紙芝居のようにアプリの動きを表現します。
- ・実際の開発の際にも行われている方法です。



### <制作課題>

- ・オリジナルのアプリを企画し、その画面・動きをペーパープロトタイピングで制作する

### <手順>

1. オリジナルアプリの企画を考え、企画書にまとめる（1時間）
  - ・ブレインストーミング（自由な意見交換）→個人で企画書作成
2. アプリの画面・動きをペーパープロトタイピングで制作する（1時間）
3. 考えたアプリを、ペーパープロトタイピングを使って発表する（1時間）
  - ・グループで内での発表→相互評価→自己評価

### STEP1 オリジナルアプリを企画する

1. どのようなアプリがあるか調べ、「こんなアプリがほしい」というアイデアを個人で考える。（15分）
2. グループで「こんなアプリがあったら便利！」「こんなアプリがほしい！」をテーマにブレインストーミングの手法で意見交換する。（15分）  
※ブレインストーミング＝質より量を目標に、意見を否定せずどんどんアイデアを出そう
3. ブレインストーミングで出たグループの意見を参考に、自分の企画をしばり、企画書にまとめる。（15分）
4. 制作した企画書を提出する。

## ワークシート

1. 自分が調べたアプリ、自分がほしいと思うアプリを箇条書きでメモしよう

--

2. ブレインストーミングで出た、グループのアイデアをメモしよう

--

3. 話し合いで出たアイデアを参考に、企画書を書こう

### 企画書

タイトル	
ターゲット	
アプリの概要	
提案の理由	

## ペーパープロトタイピングでアプリを設計しよう！②

～制作編～

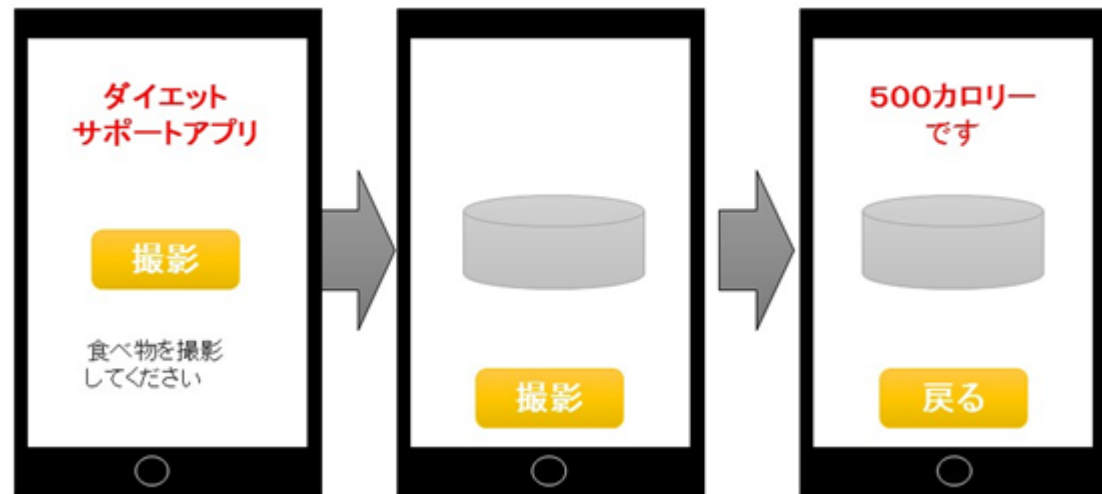
### STEP2 ペーパープロトタイピングを制作する

前時に企画したアプリをペーパープロトタイピングを制作し表現する

1. 配布した用紙から 画面を切り抜く
2. 台紙に基本の画面（ページ）を3枚以上作る
3. 一部分が変わる部分は付箋で表現
4. 制作した紙はビニール袋に入れて提出する

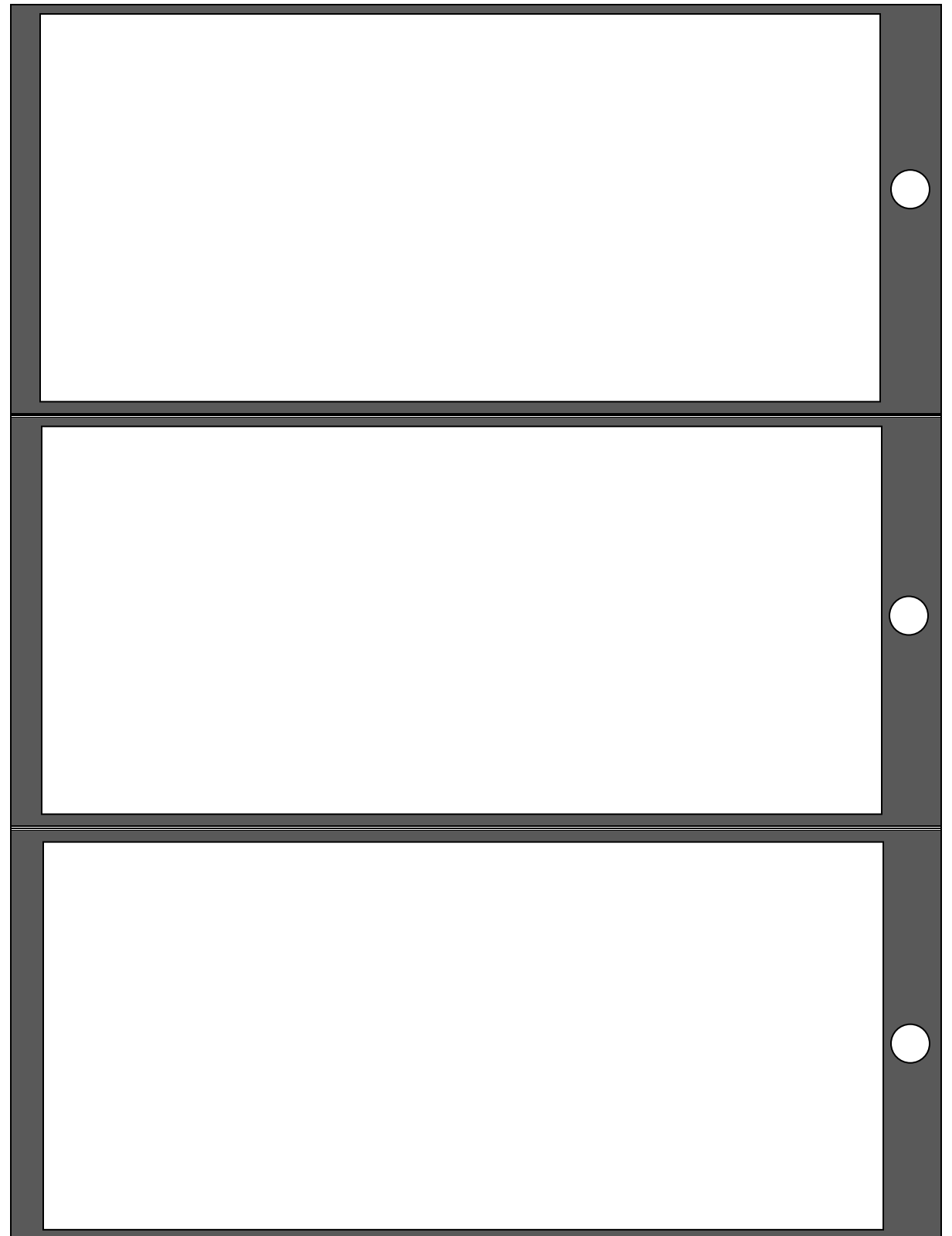


### <画面の例>



### ワークシート(型紙)→

- ・右の画面を切り抜いて使ってください（基本ページは3枚以上作ること）  
（※画面はスクロールを想定して縦に長く作ってあります）
- ・一部分が変化する場合は、付箋を使って表現してください。



ペーパープロトタイピングでアプリを設計しよう！③

～発表・相互評価編～

**STEP3 発表・相互評価し振り返る**

1. 4人グループ内で順番に発表する。
  - 1) 発表は一人3分程度。
  - 2) 発表内容は
    - ・アプリの概要 (例)「……するアプリです」
    - ・開発の理由
    - ・画面の動きを説明 (例)「最初の画面がこれで、このボタンを押すと……」
  - 3) 紙芝居のように提示しながらグループの他の人に説明してください。
  
2. 発表を聞きながら、相互評価を行います。
  - 1) 聞いていた人は質問を一つしてください
  - 2) 質疑応答が終わったら、右のコメントシートに発表があったアプリの「いいところ」「改善点」を一つずつ書いて、全員の発表が終わったら説明者に渡してください。
  
3. 自己評価シートを作成し、提出します
  - 1) 自己評価シートに制作した画面をのりで貼りつけましょう。
  - 2) 画面の変わり方は、フローチャートのように矢印で表現してください。
  - 3) シートの裏面に、ほかの人からもらったコメントシートを貼り付けてください。
  - 4) コメントシートを参考に、考察・改善点を書いてください。
  
4. 自己評価シートを提出します。



コメントシート

発表者		記入者	
よい所			
改善点			

コメントシート

発表者		記入者	
よい所			
改善点			

コメントシート

発表者		記入者	
よい所			
改善点			

ペーパープロトタイピングでアプリを設計しよう！④

☆制作物を貼りつけてください

考察 改善点	
-----------	--

感想 コメント	
------------	--

※裏面にコメントシートを貼ってください。

高校2年 組 番 (名前)